

【23卒】 「別の企業にしようかな…」 トップ学生の不評を買う選考時の対応

24卒選考が徐々に本格化しつつある今、採用側では気づきにくい「自社の評価を下げてしまいう選考時の対応」について、運営上の最終確認と手配・段取りタイミングがきています。

学生の不評を買う「マズい対応」は1～2年で大きく変わるものではありません。昨年度(23卒)の学生コメントから、選考プロセスで生じがちな失点ポイントを再掲します。

いずれも初歩的事項ですが、それだけに、各社の運営レベルが大きく影響します。失点を少しでも防ぐために、自社オペレーションの再チェックをお奨めします。

【選考に関する主な不満点(23卒)】

- (1) オワハラがきつい
- (2) 面接日程の調整が一方的(連絡タイミング・日程/連絡手段)
- (3) 次の選考まで間が空く
- (4) その他(特徴的な不満)

以下、上記項目ごとに、23卒学生の生声をまとめています。

※()内は不評対象となった企業

(1) オワハラがきつい

「他社の面接日時を詳しく聞いておいて、完璧に被せてくるのはやめてほしい。いくら第一志望とはいえ、就活の終わり方として他企業を受けきることができずに終わるのは悔いが残る。他商社も内々定オファー時にその場で承諾せず、他の企業の選考も受けきりたいと言うと、かなり渋られたがなんだかんだ受けさせてくれた。こういう情報が就活生の間で広まると正確な他社の選考状況を話さないようになってしまうのでやめた方がいいと思う」(総合商社)

「『就活を終わらせて欲しい』というハラスメントを電話でしょっちゅうしてくる」(総合商社)

「内定をもらったら必ず入社する意志を見せなければ最終面接を受けることができない。他社を辞退する意志確認を何度もされる」(政府系金融)

(2) 面接日程の調整が一方的

▼連絡タイミング・日程に関して

「2次面接当日の深夜11時に『翌朝9時に本社に』と電話してくるなど対応が酷い部分があった」（総合商社）

「前日に突然翌日の対面面接の予定を組まれ、『先約がある』と言っても『どうにかして動かせないか』と言われる」（政府系金融）

「2次面接終了10分後に『東京に次の日来てください』と言われたが、地方住まいのため難しかった」（総合商社）

「面接日程の候補が電話で連絡され、候補日程も非常にタイトだったので、予定の調節に非常に苦労した」（メーカー）

「最終面接のみ自分で自由に日程を選択できなかった。”他社との被りや学業との調整を申し出ると、合否に影響があるのではないかと不安になってしまった」（インフラ系）

▼連絡手段に関して

「結果連絡が全て非通知の電話連絡のため、なかなかタイミングが合わず、電話を取ることができないことが多々あった」（生保）

「選考連絡が電話のため、タイミングが合わず出られないことが数回あった。電話だけでなくメールでも連絡してほしい」（信託銀行）

「非通知での電話連絡が多く、かけなおしができない」（損保）

「リクレーターから都合の悪い時間に一方的に電話がかかってくるが多かったため、面談はメールで調整できるとよかった」（都銀）

「面談の日程調整を電話で行ったが、担当リクレーターと連絡が取りづらいが多かった。忙しいのかLINEの返事も遅いことが多かった」（都銀）

(3) 次の選考まで間が空く

「インターンからの早期選考にも関わらず、最終面接の日程が遅く、モチベーションの維持が大変だった」 (政府系金融)

「内定通知が最終面接の2週間後と遅かった。結果通知がどれくらいの時期になるかという事前の連絡が欲しかった」 (電機)

「(1次選考の) グループディスカッションから最終面接までの期間が長く、志望度がどんどん下がって行ってしまった」 (通信インフラ)

「とても選考の進みが遅いと感じた。その間に他社から内定をいただいたため、気持ちが保ちづらかった」 (都銀)

「面接してから結果が来るまでのスピードが遅いと感じた。競合の銀行の方がスピーディーに対応できていた」 (都銀)

(4) その他 (特徴的なもの)

「2次面接の実施ブースがあまりに騒がしく、かなり声を張らないと声が面接官に届かない」 (総合商社)

「官庁を併願していないかどうかを非常に気にしてくる。元々していなかったが何回も疑われるので正直気分が良くない。また人柄を重視する弊害と思うが、かなりパーソナルな部分まで踏み込んで質問される」 (政府系金融)

「『模擬面接』と言って選考要素のある面接を行うなど、不透明感が強い」 (損保)

「最終面接官が常時あくびをしていた」 (SIer)

以上